

④ 創作 思い描いた創作のものがたり

1	坂口安吾集	坂口 安吾	S50・7
2	木の話	蓮原 昭	H3・12
3	九州うまいもの旅	楠本憲吉・友清高志	S55・10
4	世界一周の誕生	園田 英弘	H15・7
5	るーぶ幻想	もとむら睦花	H12・11
6	鯨のはみがき	前田 拓郎	S52・12
7	我が罪	宗方 慶司	H12・12
8	踊り子	柳谷ひさ子	H16・8
9	glass prison グラスプリズン	浜口 剛	H15・8
10	大隈言道の桜	桑原 廉靖	H4・5
11	KIMONO幻想曲	伊賀 律子	H13・9
12	春はブルーレースとともに	北原梯二郎・世良田静江	H5・11
13	白い時差	中島 敏彦	H7・8
14	寺田寅彦「ローマ字の巻」	鴻江洋明編	S62・12
15	久留米ラーメン物語	原 達郎	H11・9
16	三井家の人びと	小島 直記	S38・8
17	聞法	井上 悟	S54・2
18	〈ガン〉を生きる	田中 義文	S62・4
19	あなたはクセで生きている	軽部 拓	H16・7
20	紫式部日記の研究	木下 美	S54・3
21	初老達の台湾旅行	吉富 徳	S59・2
22	鏡の中の休日	新 昌良	H3・8
23	抜萃のつゞり その二十五	熊平 源蔵	S40・2
24	尻糞蔓 坂本茂木特集号	へくそかずら同人会	H15・7

25	医師ギオン	ハンス・カロツサ 著 野村豊太郎 訳	H13・
26	回顧 南欧かけある記	伊藤 薫	H4・
27	旅果てしなく	中島 敏彦	S58・1
28	旅	やひめ文庫	H5・3
29	訪中記 1～7	八女地区日中友好協会	H7～
30	長江・三峡下りの旅	日中友好訪中団	H8・
31	新中国の旅	堀川 正通	S53・11
32	マイ・ワンダフル・30デイズ	古賀 敬一	H8・12
33	十字架のある風景	宗方 慶司	H16・9
34	親善の輪	吉富 徳	S62・10
35	一筋に燃える	東 邦次郎	S59・4
36	生活にゆとりを住みよい村づくり運動	榊 正弘	H11・6
37	翹雲	和田 伝	S32・9
38	由布岳	加藤田 務	H4・8
39	秋月賛歌	椎窓 猛	H12・11
40	八女・井上三綱展		H13・11
41	坂本繁二郎画伯をたたえて	八女文化連盟	H15・5
42	書歴六十年書の回顧展図録	平島 桂仙	H9・9
43	画・文集 惜別	菊池 光恵	H16・6
44	吉田民尚画集	吉田 民尚	H9・3
45	乙女座のピアス	城 はるみ	H7・8
46	英雄医談	王丸 勇	S47・9
47	英雄天才秘話	王丸 勇	S53・6
48	トランプ国の13日	いとうまきこ	
49	横井小楠	堤 克彦	H11・3

50	去年しくろく	椎窓 猛	H13・8	76	私の街 私の時代	久留米郷土研究会	H1・11
51	マイ・コロンブス・デイ	〃	S53・11	77	故郷へー南薩沿線ー	樋渡 直竹	S59・2
52	山峡に生きる椎の葉のような哀歌	〃	S57・12	78	ぼくのアジア地図	岡 友幸	H7・9
53	雑文集もぐらの唄	〃	S43・9	79	歴史の町並み事典	吉田 桂二	H7・9
54	山峡ろまねすく	〃	H9・1	80	写真集 三池街道	井手将夫・新藤東洋男	S60・8
55	山峡木契録	〃	H11・6	81	下川都一郎・研 父子展		
56	ムササビ	〃	H16・9	82	博多、あの頃	石橋源一郎・波多江五兵衛	S52・5
57	×電車に乗って	村田喜代子	H11・6	83	ふるさとさがし	張 敏	H12・2
58	ロードトークコレクション	古賀 一成	H1・3	84	西島伊佐雄画文集 すんまっせん	西島伊三雄	H5・3
59	つれづれの記	的場 恒孝	H13・3	85	聖福寮の子どもたち	いしが のぶこ	H1・8
60	関門海峡	古川 薫	H5・12	86	やっちゃんき	そのだ まさじ	S58・8
61	事件1999ー2000	佐木隆三・永守良孝	H12・12	87	ヒロちゃん空を飛ぶ	ながとひろし・よしえヒロミ	H16・8
62	清張古代游記 吉野ヶ里と邪馬台国	松本 清張	H5・11	88	私の絵手紙日記	原田 寛子	H16・10
63	ヤポネシア考	島尾 敏雄	H3・11	89	平井光典水墨画帖	平井 光典	S62・4
64	風の王国	五木 寛之	S60・1	90	チャーチル会30周年記念誌	CC久留米	H5・6
65	五島崩れ	森 禮子	S55・3	91	彫塑と画集	大津留依子	H8・7
66	「一業一貫」の経営	中村堅太郎	H55・6	92	日本わらべ歌全集・福岡のわらべ歌	友野晃一郎	S63・12
67	フリーライターになろう！	〃	H6・6	93	霧の湯布院から	高見 乾司	H7・8
68	正々堂々を生きた男	〃	H12・9	94	愛そのものになる(Ⅰ)～(Ⅲ)	高橋 弘二	H6・8
69	人生お一人様一回限り	〃	H6・6	95	九州河童紀行	久本 三多	H5・4
70	衆知を集めて「素敵」を創る	〃	H15・8	96	天国へのメール	大内 優子	H13・1
71	プロカメラマンになろう！	〃	H6・9	97	風花を見つめて	渡辺 要三	S62・7
72	「素敵」を売る。「納得」を頂く	〃	H13・1	98	インカの謎に惹かれて	〃	S63・12
73	長崎けんみん信組の新航路	〃	H10・11	99	心月抄	下川 弘義	S61・8
74	郷に入って、郷に屈せず	〃	H9・11	100	クワイ河の虜	小野木祥之 訳	H8・6
75	素敵商売十四話	〃	H6・7	101	アフリカ子連れ旅	松岡 邦興	H6・11

102	人類への警告	飯田 直	H12・8	127	甲泉漢詩集	八木 幸吉	H15・3
103	江南紀行	森田 勇造	H12・2	128	江南三大名楼とその周辺 漢詩紀行	牛島 景資	H17・2
104	だからお店は面白い	たかはた けいこ	H16・3	129	江南漢詩紀行	〃	H14・6
105	こぼるるみひかり	橋爪 勇哲	H3・9	130	通りゃんせ	中嶋 恵子	H10・11
106	ムーランルージュの時代	神山 宏	H15・7	131	荒野の風に吹かれて	紀元 一人	H9・10
107	感性の絵巻 仲町貞子	田中 俊廣	H16・5	132	育みて 今	永井 暢一	H12・7
108	顔が変われば人生が変わる	堀 逸郎	H16・10	133	海の病棟	武藤 泰勝	H9・9
109	プチ断食ダイエット	いしはら ゆうみ	H14・12	134	四階の小さな踊り場	山田 敦心	H9・4
110	苦言をひとつ~若狭からのメッセージ	石黒 順二	H15・11	135	商人道	長谷川裕一	S55・4
111	相邑美佐江のヒーリングデザイン	相邑 美佐江	H15・5	136	渦巻	手島 眞	H17・3
112	素晴らしきお産	谷口 祐司	H6・4	137	生涯学習	草野 實	H17・3
113	余韻に美あり 中村旭国聞書	谷口 治達	S63・6	138	愛の白道	愛の白道刊行会	S43・2
114	神風連実記	荒木 精之	S46・11	139	わが公民館の歲月	林 克馬	S40・9
115	歯医者のおくが 怖くて歯医者に行けない理由	谷口 清	H12・9	140	四国巡礼	宮部 末吉	S49・4
116	琵琶という二字	金子 厚男	S58・11	141	九州西国巡拝	〃	S51・4
117	今浦島	原田 喜示	H17・3	142	西国巡礼	〃	S57・7
118	リカに命をわけてください	宇津木 登	S54・2	143	卑弥呼の靈に捧ぐ	日留 山人	S57・8
119	葉は落ちて根に帰る	片岡 稔恵	H7・6	144	日本破局のシナリオ	パラタイム・ファクトリー	H7・12
120	歯は中枢だった	村津 和正	H14・2	145	悲恋の女王久津媛	福本 英城	H11・10
121	逆戦災孤児	市川 倭	H16・4	146	応援します、あなたの旅立ち	大平 光代	H14・2
122	M64 ~ある人形のオデュッセイア~	木村せせり	H16・7	147	直木三十五入門	福山 琢磨	H17・2
123	朧草子	柘 洪作	H15・12	148	監督の条件2	田村信三郎	S55・5
124	僕のスタンス	中田 幸作	H12・9	149	息子・正哲との想い出	東 孝	H13・10
125	いのちをつないで	賀久 はつ	H12・2	150	北朝鮮の夜明け	大谷 深	H6・8
126	CARTOONS ちょっとヒトコマ	坂井せいごう	S14・6	151	幾山河	瀬島 龍三	H8・8
				152	金 泳三	小林 慶二	H4・10

153	国会十年の歩み	伊江 朝雄	S63・5	179	旅ゆけば	川崎 洋	H14・12
154	耳納北麓と京筑の史跡を求めて	山口 昌登		180	日本語探検	〃	H7・6
155	肥後路を撮る	〃		181	日本の遊び歌	〃	H6・9
156	古代から現代までの北九州市	〃		182	日本方言詩集	〃	H10・7
157	北野天満宮参堂の名所	〃		183	ひかるサケ	〃	H2・4
158	むつみ会 第一巻	むつみ会		184	不意の吊橋	〃	H9・6
159	韓国からの便り	倉橋 葉子		185	ママに会いたくて生まれてきた	〃	H8・4
160	その時私は	原田 喜示	H14・10	186	燎原のこえ 民衆史の起点	色川 大吉	S51・6
161	日本のこころ	片岡 繁彦	H14・8	187	流転の民権家―村野常右衛門伝―	〃	S55・10
162	群青 第6号	楠の会	H17・4	188	ある昭和史―自分史の試み	〃	S50・8
163	アトム小品集	原田 喜示	H16・7	189	明治人その青春群像	〃	
164	戦争と若者たち	堤 克彦	S49・10	190	流転の民俗学	〃	
165	高校の現場から	〃	H7・9	191	歴史の方法	〃	S52・10
166	横井小楠	〃	H11・3	192	北村透谷	〃	H6・4
167	いのち響きあう	森崎 和江	H10・4	193	民権百年	〃	S59・5
168	青木繁・坂本繁二郎	谷口 治達	H7・2	194	柳田国男	〃	S53・2
169	続々絵葉書集	鶴田 忠義	H7・10	195	明治人	〃	S53・6
170	小さな花	綽 真唯子	H15・3	196	水俣の啓示	〃	S58・7
171	画帖 緬甸(ビルマ)	西島伊三雄	H15・11	197	昭和史と天皇	〃	H3・7
172	海があるということは	川崎 洋	H17・3	198	日本縦断	〃	S52・11
173	大人のための教科書のうた	〃	H10・7	199	自由民権	〃	S56・4
174	交わす言の葉	〃	H14・11	200	自由民権の地下水	〃	H2・5
175	詩集 ゴイサギが来た	〃	H7・2	201	わだつみの友へ	〃	H5・11
176	言葉のノート	〃	S55・12	202	民衆史 その100年	〃	H3・11
177	言葉遊びうた	川崎 洋	H12・3	203	歴史の方法	〃	H4・5
178	魚の名前	〃	H16・12	204	自分史 その理念と試み	〃	

205	ならば私が黒字にしよう	高塚 猛	H15・8	231	届かなかったラブレター		H15・12
206	高塚猛の実践「企業よみがえり学」講義	〃	H15・1	232	現代女流川柳鑑賞事典		H18・10
207	NEW人の[意識]が変わるグランドマネジメント	〃	H15・2	233	あしあと	古賀 次夫	H10・10
208	尾形光琳 江戸の天才絵師	飛鳥井頼道	H16・10	234	チャコと私のこころの旅物語	水城 央	H16・1
209	新日本永代蔵	船橋 晴雄	H15・4	235	宮崎兄弟伝 アジア篇(下)	上村希望雄	H11・3
210	イカロスの墜落のある風景	〃	S58・7	236	春菜のおくりもの	高松真理子・波多江伸子	H12・6
211	日本経済の故郷を歩く	〃	H12・6	237	人と契らば濃く契れ	根元 順善	H12・9
212	あらためて経済の原点を考える	〃	H13・12	238	村岡安吉伝	村岡 安廣	S59・11
213	岡崎嘉平太伝	岡崎嘉平太刊行会	H4・8	239	大河を遡る	古賀 勝	H12・10
214	誠意・創意・熱意	井本 勇	H6・7	240	坂本善三美術館建設物語	小国町役場	H7・10
215	花と技術のまちづくり	辺見 敏之	S60・3	241	現代の名工たち	岬 茫洋	H2・11
216	男でござる 風の巻	細川 隆元	S56・5	242	岬の人	三木 一雄	H3・8
217	〃 龍の巻	〃	〃	243	ふくおか人物誌(1)貝原益軒	ふくおか人物誌編集委員会	H5・7
218	「人材」と「お客」はいくらでもつくれる	高塚 猛	H16・4	244	明治の気骨利光鶴松伝	渡辺 行男	H12・8
219	「伸びる人」の法則	〃	H16・2	245	日本占領下・インドネシア旅芸人の記録	猪俣 良樹	H8・9
220	小島善三郎 資料集	福岡市美術館編	H10・12	246	現代の職人	石山 修武	H3・2
221	山崎朝雲 資料集	〃	S62・3	247	漂泊者のアリア	古川 薫	H2・10
222	保存版 山頭火	石 寒太編	H10・6	248	ふるさと直方人物誌	舌間 信夫	H5・10
223	山東火の世界	穴井 太	H2・1	249	西武ライオンズ	河村 英文	S58・4
224	俳人山頭火の生涯	大山 澄太	S58・1	250	随筆ふきのとう	石橋 正良	S54・3
225	山頭火と心友木村緑平	仲江 健治	H10・10	251	ありがとう 4	RKB毎日放送	H9・6
226	放浪の俳人 山頭火	村上 護	S63・8	252	八女の職人ことば	松田 久彦	S61・11
227	わたしの山頭火	朝日新聞山口支局編	H2・6	253	北ウイング	中島 敏彦	S63・3
228	種田山頭火	村上 護	H5・6	254	いのちをうたう	古田 和弘	H17・5
229	山頭火の道	大山 澄太	S58・4	255	紫水	紫 水 会	H13・7
230	山本健吉俳句読本 1～5	山本 健吉	H5・5	256	カップパ漫談	森山 靖章	

257	漢詩集	主計 計扇	H10・3	283	うねりの時代	小川 義勝	H9・
258	宣長残照・山桜の夢	藤井 滋生	H14・3	284	着信人払い地球郵便局	田部 光子	S59・8
259	正統三河武士の最期	芝 泰子	H6・10	285	その時どきに心を込めて	富田 英壽	H16・2
260	八十歳の軍師寺井玄溪	松本 順司	H15・9	286	梅は寒苦を経て清香を発す	富田 英壽	H16・10
261	武弁詩懐	船木 捷彦		287	聴心記	武見 太郎	S53・9
262	随想 山陰つれづれ	酒井 董美	H15・8	288	往診よもやま話	福岡市内科医会	S47・4
263	君への贈りもの	河端 洋安		289	検事物語	檜田 忠美	S31・5
264	人生と念仏	寺山 文融		290	東南アジアを廻って	久原 忠夫	S35・5
265	午後の大回廊	渡辺 斉		291	診察室うらおもて	三浦 隆蔵	S35・9
266	みやこという宇宙	園田 英弘		292	まむしのたわごと	金原 一郎	S39・8
267	空のおばさん	田熊 正子		293	まむしのたわごと第二集	金原 一郎	S40・10
268	世界一周の誕生	園田 英弘		294	続田舎産婦人科医の珍話	本田 勝信	S54・7
269	医者のおた	岩永 保人	S63・3	295	白露も夢も	小川 義勝	
270	節くれの指	星野 秀水	H17・8	296	道 標	小川 義勝	
271	炎の村へ	永延 幹男	S61・4	297	草 枕	小川 義勝	
272	続・水明書院主人文集	三原 温・智	H17・2	298	花 標	小川 義勝	
273	古川利三郎想い出画集	古川 タカ	H17・7	300	群青第7号	文芸宗像楠の会	H18・4
274	マフリテメクル小宇宙	岡部 賢二	H17・9	301	芭蕉さんの悪戯	八女川 瀬	H18・3
275	石の花	藤井 信幸	H9・3	302	文章歩道	高 遠 書 房	H18・4
276	原爆 ある被爆医師の証言	服部達太郎	S44・8	303	子の心親知らず	船木 英示	H7・1
277	谷口弥三郎伝	荒木 精之	S39・12	304	文章歩道 春号・夏号	高 遠 書 房	H18・1~
278	彷徨と回帰	中野 章子	H7・5	305	三十九年目の判決	宮永 偉文	H4・5
279	流されゆく日々1975~1987	五木 寛之	H7・5	306	播磨の寛延一揆	田 摩 新	H7・7
280	流されゆく日々1988~1995	五木 寛之	H7・5	307	館長漫調 第2巻	貞森比呂志	H14・4
281	ふるさと語情報館	川崎 洋	S56・6	308	画文集 孫の所望	白武留康・中村ちひろ	H13・4
282	蓮如物語	五木 寛之	H7・11	309	バルビゾンの道	高橋甲四郎	H18・1

310	ひぐらしが啼き止んで	西村 虎治	H14・3	336	火の音	有森 信二	H20・9
311	みかんの花咲く丘	西村 虎治	H16・11	337	大家クレパス画集	藤 井 絳	S55・9
312	花のうた	貞刈みどり	H17・10				
313	心のうた	貞刈みどり	H10・8				
314	北の追憶	櫻田 正樹	H3・2				
315	妄想スケッチ	久保田カオル	H19・5				
316	旅と夢と散策と	坂内 昇	H19・5				
317	こころの摘み草	稗田チヅ子	H19・5				
318	紫水 No28	紫 水 会	H19・7				
319	裏切りの協奏曲	宗方 慶司	H19・8				
320	縄文風花記	岩元 未治	H19・8				
321	復権か従属か	秋吉久紀夫	H17・6				
322	ティンサ	根本百合子	H19・7				
323	風の牧場	多賀 浪砂	H18・12				
324	なんでバイバイするとやか？	ごとうひろし	H20・3				
325	あなたの笑顔がみたくて	龍 一郎・李恵	H18・3				
326	夢鳳水墨画集	詫間 文男	H4・6				
327	津留誠一作品集	津留 誠一	H13・2				
328	團さんの夢	中野 政則	H15・4				
329	青春の刻	有田 一寿	H4・3				
330	はいぬづか	世良田静江	H20・9				
331	高橋常雄作品集	高橋 富枝	H12・5				
332	街角の四季	森 眞吾	H19・7				
333	福、徳、貧乏、幸い	門田 保慶	H19・1				
334	黄砂ふる街	森 眞吾	H18・11				
335	坂本龍馬暗殺異伝	和田 武久	H20・9				